

レファレンス だより

2010年11月号
No. 96

福岡市総合図書館
図書利用課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2010年8月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
130	2,112	539	480	469
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
627	126	1794	1,020	7,297

（開館日 25日 一日平均 292件）



今月のレファレンス徹底解説！

Q：日本における現代の請願権についての法的根拠が知りたい。



■百科事典

『世界大百科事典 15』(平凡社 2009年) 2階 C1 R031/㌞

「請願」とは人民が国家または地方公共団体に対して意見を具申することであり、日本国憲法はそれを外国人、法人、未成年者等を含む全ての人民に権利として保障するとあり。

※日本国憲法第16条：何人も（中略）請願する権利を有し、何人もかかる請願をしたためにいかなる差別待遇も受けない。

■請願について

『請願権』(渡辺 久丸／著 新日本出版社 1995年) 閉架書庫 314/㌞

明治憲法が定められる以前（農民らがやむにやまれず請願することはあっても「権利」としては認められていなかった）から明治憲法が制定され（「権利」として認められるがきわめて制限されている）、現行憲法で無制約の「権利」となるまでの日本の請願法制のあゆみについての記述あり。また、その法的性格には3つの学説「自由権説」「受益権説」「参政権説」があり、それぞれの特徴を紹介・分析している。巻末には関連法規として国内法と、ドイツ、韓国など14カ国における請願法、国連憲章など9つの国際法が紹介されている。

『請願・陳情ガイドブック』(中島 正郎／著 ぎょうせい 1992年) 2階 D9 314.1/㌞

請願（権）について詳しく説明・解説し、関係する法律も挙げている。多数の請願例や書式例もあり。

■地方自治関連

『地方自治法の解説』(妹尾 克敏／著 一橋出版 2006年) 2階 D9 318.1/㌞

第124条で地方議会に対して請願しようとする者は議員の紹介により請願書を提出しなければならないと定められている。また第125条では、採択請願の送付、報告の請求について定められている。

■地方議会関連

『地方議会議員ハンドブック』(全国市議会議長会／著 ぎょうせい 2007年) 2階 D9 318.4/㌞

議会の基本として、請願の項目あり。また、「標準市議会議事規則」（全国都道府県議会議長会が制定した「標準全国都道府県議会議事規則」に準拠して全国市議会議長会が制定したもの。全国の自治体の議事規則は「標準全国都道府県議会議事規則」に準拠している。）が資料として紹介されており、第三章第132条から第138条で請願書の記載の仕方から処理までが定められている。

『地方議会運営事典』(地方議会運営研究会／編集 ぎょうせい 2008年) 2階 D5 R318.4/㌞

請願（権）について請願の手続やその効果など詳しい説明あり。また、請願書の提出先は①地方議会に対しての請願は地方自治法で定められており、②天皇及び官公署に対しては請願法により、内閣府、それぞれの官公署（どこに提出すべきか不明の場合は内閣府）に提出③国会に対する請願は国会法により各議院が各規則に則り受けるとあり。



その他にもこんな質問がありました

Q：散骨は墓埋法に触れるのか知りたい。

■葬送儀礼関連

『墓地の法律と実務』（茨城県弁護士会編 ぎょうせい 1997年）2階D19 385.6/ホ

墓地、埋葬等に関する法律（墓埋法）は、墓地として都道府県知事の許可を受けた区域以外に埋葬（死体を埋めること）やお骨を埋蔵することを禁止し、公衆衛生の確保と国民の宗教的感情の尊重を図る規程である。また埋葬や火葬、改葬（別の場所に埋葬、埋蔵しなおすこと）も市町村長の許可を要し、勝手な埋葬等を禁ずる規程であると記述あり。

■衛生法令関連

『Q&A 墓地・納骨堂をめぐる法律実務』（藤井正雄ほか/著 新日本法規 2005年）2階E10 498.12/キ

慣習としての弔いの方法やその変化を日本人の意識の変化とともに解説している。散骨に関して、平成3年に実際に行われた散骨に対して当時の厚生省と法務省は墓埋法の想定外であり法には触れないとの見解を示した。解説によると、散骨の場所に関して節度をもって行うこととし、例として外海や墓地内、自宅の敷地内などを上げている。

■新聞記事

朝日新聞データベース「聞蔵Ⅱ」

「散骨規制」で検索。墓埋法による規制ができないことから、散骨の名所とならないよう北海道永沼町、埼玉県秩父市などが条例で規制。内容はそれぞれの自治体ホームページから読むことができる。

Q：カカオが体に良いという情報や、カカオの成分について書かれた本を探している。

食品成分表や食品栄養学の本には記述がないので、カカオ豆が原料のチョコレートやココアの本をみってみる。

■チョコレート関連

『チョコレート・ココアの科学と機能』（福場博保・木村修一/編 アイ・ケイ・コーポレーション 2004年）2階E15 588.34/チ
カカオ豆の品種や生産・加工（学名、原産地・生産地、カカオの木、カカオの実、カカオ豆の収穫・発酵・乾燥）について詳しい解説あり。チョコレート・ココアの栄養成分や栄養機能のほか、カカオ生豆の成分の表やカカオポリフェノールについての記述もある。

『チョコレートの博物誌』（加藤由基雄・八杉佳穂/著 小学館 1996年）閉架書庫 588.34/カ
カカオの新しく見直される機能として、①食物繊維が豊富で、嗜好食品の中では特異的。②マグネシウムが豊富で健康機能が期待できる。③カテキン・エピカテキンなどのポリフェノールが豊富。④チョコレートは栄養学的にバランスがとれている。の4点が紹介されている。カカオ豆に含まれるミネラル類の数値表も掲載。

『チョコレートの科学：その機能性と製造技術のすべて』（Stephen T. Beckett/著 光琳 2007年）2階E15 588.34/ベ
「チョコレートは健康に良い」という文章がある。原料のカカオ豆についても詳しい解説あり。

『チョコレートの科学 苦くて甘い「神の恵み」』（蜂屋巖/著 講談社 1992年）閉架書庫 Y588.34/ハ
ココア（カカオ）豆の成分組成表あり。ココア豆のミクロ構造についての記述もある。

『チョコレート：ロマンのあるスイート』（ノマン・コルパス/著 モロゾフ 1981年）閉架書庫 588/コ
チョコレートと健康についての記述「チョコレート、健康、栄養」「健全な美食家によるまとめ」あり。

Q：宮本武蔵が一乗寺下り松で吉岡一門と戦った時のことが書かれている本はないか？

■事典

『宮本武蔵大事典』（加来 耕三/編 新人物往来社 2003年）2階C13 R789.3/ミ

慶長九年（1604）、一乗寺村藪ノ郷下り松付近で武蔵が単身で吉岡一門百余名と対決。仕合の名目人である吉岡又七郎を一刀のもとに斬り伏せ、一気呵成に敵の包囲を破って離脱して行ったとある。

■剣道関連

『剣道五百年史』（富永 堅吾/著 島津書房 1996年）2階B19 789.3/ト

『二天記』によると、一乗寺藪の郷下り松での試合では、又七郎や一部の門弟を斬ったとある。

『宮本武蔵』(魚住 孝至／著 ペリかん社 2002年) 2階 B19 789.3/4

『武公伝』によると、武蔵が又七郎を斬り殺すと、門弟達も切り掛かり射かけてきたが武蔵はわずかに矢一本が袖に刺さっただけだった。武蔵が進んで追い崩すと門弟は狼狽して走散したとある。

『宮本武蔵全書』(松延 市次・松井 健二／監修 弓立社 2003年) 2階 B19 789.3/ミ

『武公伝』には「又七郎を切弑し彼門弟を追奔して、威を震はて洛陽に帰る」とある。

Q：明治以降に来日した外国人の紀行文や滞在記が見たい。

■事典

『事典外国人の見た日本』(富田 仁／編 日外アソシエーツ 1992年) 2階 C10 R210.03/ジ

第1部に1960年までに発表された外国人の旅行記、日本観、日本人論などのうち、邦訳があるもの322点について著者の略歴、著作の成立背景、著作の内容、邦訳書などの紹介が載っている。

■図書

新異国叢書は第1輯～第3輯の全35巻＋総索引からなり、日本を訪れた外国人の日記、紀行、見聞記などがまとめられている。第1輯(全15巻)はキリスト教伝来から幕末まで、第2輯(全10巻)は開国期から明治初期まで、第3輯(全10巻)は幕末から明治中期の史料が収録されている。

『モースのスケッチブック(新異国叢書第3輯5)』

(中西 道子／著 E.S.モース／画 雄松堂出版 2002年) 2階 B14 289/モ

明治10年(1877年)に大森貝塚を発見して日本の考古学の創始者となったモースのスケッチ、著作、書簡を収録している。スケッチには江戸・明治時代の日本の日常生活を描いたものも含まれている。

■インターネット情報

「国立国会図書館」【<http://www.ndl.go.jp/>】>「電子展示会」>「ミニ電子展示本の万華鏡」>「過去の常設展示一覧」

第112回常設展示は外国人の明治日本紀行で、国会図書館が所蔵している洋書15点を著者略歴、内容、邦訳、関係資料とともに紹介している。

Q：国連総会で日本の内閣総理大臣として初めて演説した佐藤総理の演説がみたい。

■外務省資料

『国際連合第25回総会の事業 上巻』(外務省国際連合局政治課 1971年) 2階国連 A1 UNB/ '70/25th
総会での審議概要、決議、代表者の発言などを日本語で掲載したもので、創設25周年記念会期に佐藤栄作総理大臣が行った演説(1970年10月21日)が巻末の附属に収録されている。加盟(1956年)以来、日本の総理大臣として初の国連演説であり、平和と正義にもとづく人類の進歩と調和を呼びかけている。
*第15回から第55回(1961年～2002年出版)も所蔵。

『Statements Delivered by Delegates of Japan during the XXVth Session of the General Assembly of the United Nations(日本代表による演説)』外務省[1971年] 2階国連 A1 UNB/['71]/25th
前掲の演説を英文で読むことができる。日本代表が国連総会でを行った演説(英文)を収録。*第13回から第55回(1959年～2002年出版)も所蔵。

■国連資料

『Official Records of the General Assembly 25th Session Plenary Meetings volume II(公式記録 国連総会第25会期本会議 第2巻)』(United Nations 1974年) 2階国連 A8 GA/25/Plenary
第2巻は第1867から第1895(総会第1会期からの累積)会議が収録され、その第1877会議に佐藤総理の演説が掲載。

■インターネット(国連総会で一般にスピーチを捜す場合に便利)

(外国語)「UNBISnet: United Nations Bibliographic Information System(国連書誌情報システム)」
【<http://unbisnet.un.org/>】>Index to Speeches の New Keyword Search>Speaker のところに総理大臣名を入力(一覧から英語その他の国連公用語で読むことができる)

1983年以降の内閣総理大臣、外務大臣、国連大使などの演説文を見ることができる。

(日本語)「外務省」【<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>】>「外交政策」>「国連」/「国連総会」

国連ミレニアム・サミット及びミレニアム総会(第55回/2000年)以降の国連総会における日本代表などの各スピーチを同様に確認することができる。第63回からは英文も併記。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



今月の一冊！

『福岡県百科事典』 上・下巻（西日本新聞社 1982年）2階 C12 R291.91/7

福岡県のことについて調べるときに、利用するのがこの事典です。

福岡県に関する事柄を人文科学、社会科学、自然科学の分野から約1万2000項目収録し、五十音順に配列しています。写真、図版、表などを4200点添え、巻末には五十音順索引と分野別索引があります。

付録として、古代から現代までの福岡県考古・歴史年表、国県指定文化財一覧、県内主要河川、山岳一覧、地形、地質図、銘酒・銘菓一覧、県内ことわざなどを約200ページにわたり掲載しています。

2階C12の地理コーナーには他に、地域別百科事典（北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・富山・福井・山梨・岐阜・静岡・愛知・兵庫・鳥取・島根・岡山・広島・徳島・香川・高知を所蔵）を、また郷土資料室には九州・山口各県の百科辞典を置いています。

使ってみました！⇒“生田徳兵衛（いくたとくべえ）”を調べる！

■直接その項目をひく・・・“生田徳兵衛”の項目に、「（明治22年～昭和42年）博多にわか師。本名権次郎。福岡市伊崎（中央区）に生まれる。樵職（きこり）業の傍ら、にわかを演じていた父徳兵衛の死後、襲名して2代目徳兵衛となり、生田組を組織して座長となる。東京で落語、大阪で喜劇を本格的に学んだだけに芸の基礎がしっかりしており、歌もうたえ、三味線も弾け、踊りもうまく体躯堂々舞台栄えのするにわか師で、博多にわか界の第一人者となる。大正の初めごろから満州（現中国東北部）、台湾など、さらに1937年（昭和12）には、ハワイ、アメリカ西海岸にも巡演して博多にわかを海外に紹介した。」と説明がある。“博多にわか”を参照せよとある。顔写真あり。

■索引をつかう・・・下巻、巻末の分野別索引一人物より“生田徳兵衛”が見つかる。上巻の97ページに記載があるとわかる。



図書館活用術 ～郷土・特別資料室～ 「福岡」のことを調べるなら ここ！

総合図書館2階に、「福岡」の資料を集めた郷土・特別資料室があります。

地域に関係する資料を集めた「郷土資料」。福岡ゆかりの文学者や文化団体の著作を集めた「福岡文学資料」。福岡アジア文化賞受賞者の著作を集めた「福岡アジア文化賞資料」。三宅安太郎氏、筑紫豊氏、原田種夫氏、落石栄吉氏から寄贈された蔵書類を公開している「個人文庫」。さらに、福岡に関する情報誌、経済誌、同人誌など「郷土の雑誌」や福岡に関する新聞記事を集めた「新聞スクラップ」のほか、九州・山口の各縣市町村史・誌も所蔵しています。

利用は館内閲覧のみで、貸出はいたしません。皆さんがここにある資料で福岡のことを知り、皆さんの福岡をよりよいものにするため、資料を収集し提供したいと思っています。

調べ物の相談にも応じております。是非一度お越しください。



秋の読書週間です！

暑さがとても厳しかった今年、秋がより心地よく感じられるのではないのでしょうか。文化の日を中心にした10月27日～11月9日の2週間は「読書週間」です。「国民読書年」でもある今年、心に響く1冊を探しに図書館に足を運んでください！